

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公開番号】特開 2002-25983 (P2002-25983A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 25 日 (2002.1.25)
 【出願番号】特願 2000-203765 (P2000-203765)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/3065 (2006.01)

C 2 3 F 4/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/302 1 0 1 G

C 2 3 F 4/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 7 日 (2007.5.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 エッチングチャンパー内の基板ホルダ上に載置された基板の表面を蝕刻するエッチング装置のエッチングチャンパーにおいて、前記基板ホルダとエッチングチャンパー壁との間に設置されるシールド部が固定シールド部と可動シールド部とで構成され、前記可動シールド部は、前記基板の前記基板ホルダ上への搬送経路を開閉する位置に設けられていることを特徴とする可動シールド機構を備えたエッチングチャンパー。

【請求項 2】 エッチングチャンパー内の基板ホルダ上に載置された基板の表面を蝕刻するエッチング装置のエッチングチャンパーにおいて、前記基板ホルダとエッチングチャンパー壁との間に設置されるシールド部が、前記基板ホルダ上への基板の搬送経路を構成する開口部を有する固定シールド部と、可動シールド部とで構成され、前記可動シールド部が、前記搬送経路を開閉する位置に設けられていると供に、前記固定シールド部と可動シールド部とに、前記開口部による電位分布の乱れを抑制する機構が備えられていることを特徴とする可動シールド機構を備えたエッチングチャンパー。

【請求項 3】 可動シールド部と固定シールド部との間の間隔を調整可能であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の可動シールド機構を備えたエッチングチャンパー。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

かかる構成は、例えば、前記固定シールド部が、基板の基板ホルダ上への搬送経路を構成する開口部を備えており、基板搬送時に可動シールド部が移動して（例えば、下方方向に移動して）当該開口部を開け、エッチング時には、可動シールド部が移動して（例えば、上方方向に移動して）当該開口部を塞ぐ構成によって実現することができる。

また、前記目的を達成するため本発明は、エッチングチャンパー内の基板ホルダ上に載置された基板の表面を蝕刻するエッチング装置のエッチングチャンパーにおいて、前記基板ホルダとエッチングチャンパー壁との間に設置されるシールド部が、前記基板ホルダ上への基板の搬送経路を構成する開口部を有する固定シールド部と、可動シールド部とで構

成され、前記可動シールド部が、前記搬送経路を開閉する位置に設けられていると共に、前記固定シールド部と可動シールド部とに、前記開口部による電位分布の乱れを抑制する機構が備えられていることを特徴とする可動シールド機構を備えたエッチングチャンバーを提案するものである。

ここで、前記固定シールド部と可動シールド部とに備えられている、前記開口部による電位分布の乱れを抑制する機構としては、例えば、固定シールド部、可動シールド部ともアースに落とすことにより、固定シールド部に形成されている開口部による電位分布の乱れを少なくする機構を採用することができる。